



Institute of Labor Education & Culture

通信 No.51

2018年10月31日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F
 tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422
 URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>
 発行責任者：専務理事 木村裕士

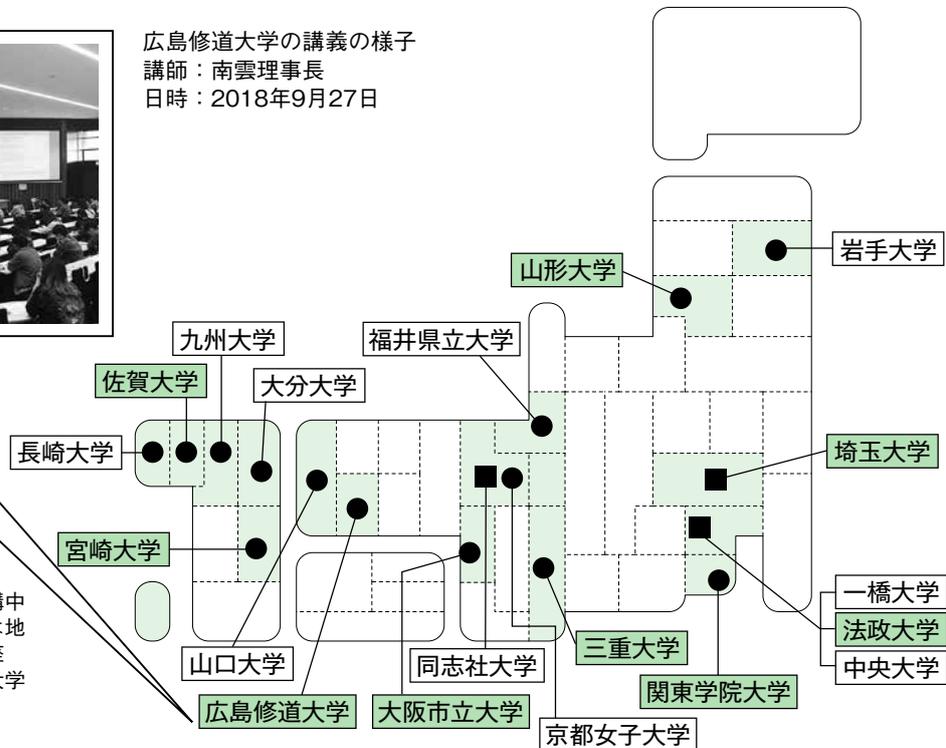
連合寄付講座の後期講義がスタート！ ～全国各地に広まる～

2005年にスタートした連合寄付講座は、今年で14年目を迎えました。現在は、教育文化協会主催の5大学と、地方連合会主催の14大学の計19大学で開講しています。



広島修道大学の講義の様子
講師：南雲理事長
日時：2018年9月27日

※アミ掛のある大学は後期開講中
 ※■は教育文化協会主催、●は地方連合会主催の連合寄付講座
 ※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講



地方連合会主催の連合寄付講座では、各地域の労働事情を踏まえた特色あるプログラムが組み立てられており、地方連合会の役員を中心とした労働運動の第一線で活躍する講師陣が講義を行っています。今年の後期は7大学で開講しています。

教育文化協会主催の後期の連合寄付講座は、法政大学・埼玉大学の2大学で開講しています（埼玉大学は11月下旬スタート。プログラムは次頁参照）。法政大学は、2013年より全学部生を対象とした講義を行っており、今年で6年目となります。第2回目の講義では、教育文化協会の南雲弘行理事長より、ご自身の経験などを交えながら、本講座を通じて学生の皆さんに学んでいただきたいことを伝えました。埼玉大学は、2007年より経済学部で講義を行っており、今年で12年目となります。法政大学・埼玉大学の連合寄付講座は聴講ができます。講義の聴講を希望される方は、教育文化協会ホームページよりお申し込み下さい。また、過去の講義録についてもホームページでご覧いただけます。

連合寄付講座は、連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できない事業です。関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後も引き続きのご支援をお願いいたします。

2018年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/25	【オリエンテーション】労働組合とは何か	法政大学 教員
2	10/ 2	【開講の辞】連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】「働くということ」をどう捉えるか～労働組合がめざす社会像とは～	南雲弘行 教育文化協会 理事長
3	10/ 9	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	石黒生子 連合 非正規労働センター 総合局長
4	10/16	【ケーススタディ①】非正規労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	泉澤匡範 イオンリテールワーカーズユニオン 中央執行書記長
5	10/23	【ケーススタディ②】労働組合の役割と組合役員の活動 ～現場の意見集約から職場の課題改善をめざす～	大園敦 アルプス技研労働組合 執行委員長
6	10/30	【ケーススタディ③】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	高橋桂子 三井生命労働組合 副執行委員長
7	11/ 6	【ケーススタディ④】労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み ～春闘における取り組みを中心に～	伊藤彰英 基幹労連 事務局次長
8	11/13	【ケーススタディ⑤】雇用と生活を守る取り組み	川野英樹 JAM 副書記長
9	11/20	【ケーススタディ⑥】公務労働の現状と公共サービスの役割	船山整 自治労 総合企画総務局長
10	11/27	【ケーススタディ⑦】労働時間の短縮に向けた取り組み	武田建 味の素労働組合 中央執行委員長
11	12/ 4	【課題への対応①】国際労働運動の役割 ～グローバルイニシアチブへの対応～	西原浩一郎 JCM 顧問
12	12/11	【課題への対応②】労働者保護ルールの堅持・強化に向けた取り組み	村上陽子 連合 総合労働局長
13	12/18	【論点整理】「働くということ」と労働組合	法政大学 教員
14	1/ 8	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	逢見直人 連合 会長代行 【コーディネーター】法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15：00～16：40

2018年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム（案）

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	11/28	【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る－労働組合が果たすべき役割とは	木村裕士 教育文化協会 専務理事
2		「働くということ」をどうとらえるか	高木郁朗 日本女子大学 名誉教授
3	12/ 5	労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	石黒生子 連合 非正規労働センター 総合局長
4		労働組合をつくる	亀本伸彦 ワタミメンバーズアライアンス 中央執行委員長
5	12/12	組合員の処遇改善に向けた取り組み	鈴木政則 U Dトラックス労働組合 書記長
6		多様な人材の活躍を促進する－障がい者雇用の事例を中心に－	相星勝利 自治労障害労働者全国連絡会 代表幹事
7	12/19	【特別講義】プロ野球選手会の取り組み	森忠仁 プロ野球選手会 事務局長 山崎祥之 プロ野球選手会 広報担当 山根木晴久 連合 総合組織局長
8		非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる	柴原准二 K D D I労働組合中央本部 事務局長
9	1/ 9	仕事と生活の両立に向けた取り組み	武田建 味の素労働組合 中央執行委員長
10		地域で雇用と生活を守る	佐藤道明 連合埼玉 事務局長
11	1/16	連合の賃金に関する取り組み	富田珠代 連合 総合労働局長
12		労働者保護ルールの維持・強化に向けた取り組み	村上陽子 連合 総合労働局長
13	1/23	国際労働運動の課題と対応	鈴木則之 連合 国際アドバイザー
14		【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	神津里季生 連合 会長
15	1/30	教員によるまとめ	禹宗杭 埼玉大学 教授

※講義時間は、水曜日14：40～16：10・16：20～17：50

第15回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」 ～5編の入賞提言が決定～

教育文化協会は、連合と共催で第15回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」を募集し、7月27日（金）の締め切りまでに44編の提言が寄せられました。9月10日（火）に開催した運営委員会（委員長＝教育文化協会・南雲理事長）で13名の運営委員による審査を行い、以下の5編の入賞提言を決定いたしました。

10月11日（木）の第78回・連合中央委員会で表彰式が行われ、「優秀賞」を受賞した西岡奈緒子さんが入賞者を代表して出席しました。連合・神津里季生会長による表彰盾・副賞授与の後、西岡さんより提言に込めた思いが中央委員へ伝えられました。西岡さんは、有病者や障がい者が働き続けられる社会の実現に向けて、当事者の視点から、在宅勤務の導入や法整備の充実、ネットワークの形成などを具体的に提起されました。

教育文化協会では、入賞提言5編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも掲載しておりますので是非ご覧ください。



神津会長より表彰盾・副賞を授与



スピーチを行う西岡さん

<入賞一覧>

(敬称略)

賞	氏名	所属	提言名
優秀賞	西岡奈緒子	ソニーマーケティング株式会社	有病者や障害者の雇用機会拡大と雇用継続の実現のために必要なソフト面での整備について
佳作賞	久原 弘	山口県立山口高等学校 通信制教諭	通信制高校における安心して働くことのできる職場への実現のために
	小池 都司	アクセンチュア株式会社 CSR部門アナリスト	プロボノ制度による労働力の有効活用への提言
奨励賞	松木 伸介	電力総連 執行委員	既存の取り組みを生かした安全衛生第一文化の醸成
	三宅 理沙	東京医科歯科大学 歯学部歯学科 4年	高齢者雇用ベンチャー企業奨励制度の提案 ～超高齢社会でのこれからの働き方

Rengoアカデミー第17回マスターコース

— 22名が1年におよぶプログラムを修了 —

教育文化協会は、連合と共催で実施する「Rengoアカデミー・第17回マスターコース」の修了式を、10月3日(水)に連合会館で開催しました。22名の修了生が、2017年11月の開講から約1年にわたるプログラムを修了しました。

南雲理事長による主催者挨拶の後、連合・神津会長より、出席した修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。その後、中村圭助教務委員長からの講評を受けて、受講生を代表して高木ゼミの古川昌広さんから謝辞が述べられました。

修了式後の懇談会では、ゼミナールの先生方や修了生の出身組織代表者の皆様からも激励のメッセージをいただきました。

修了生の皆様のご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝いたします。



<Rengoアカデミー・第17回マスターコース修了生>

(敬称略)

ゼミ	氏名		ゼミ	氏名	
馬	連合東京	大辻 成季	毛塚	日教組	堀 とも子
	連合本部	柿島 慶子		自動車総連	山崎 英伸
	自治労	澤木 悠史	高木	連合岐阜	石原 宏基
	電力総連	中野 秀一		J A M	戸田 健一
木本	自動車総連	川崎 雄三		生保労連	中町友紀子
	印刷労連	重松 克典		労金協会	古川 昌広
	労済労連	戸村 彰彦	電力総連	諸橋幸太郎	
	情報労連	渡邊 豊基	橋元	全労済	神谷 一郎
毛塚	私鉄総連	猪瀬 功		運輸労連	徳留 宏光
	連合本部	佐藤 太郎		情報労連	根本 和幸
	J P 労組	中熊 英樹		U A ゼンセン	森光 直子

修了論文報告会で受講生が修了論文の要旨を発表

修了式の前段に修了論文報告会が行われ、参加した19名の受講生が、修了論文の要旨と今後の決意を発表しました。

各受講生の修了論文の内容につきましては、修了論文集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも論文概要を掲載しておりますので是非ご覧ください。

なお、第18回マスターコースが11月18日(日)より開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



修了論文報告会の様子

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2018年9月19日に連合会館において、第6回定時総会を開催しました。定時総会では、2017年度（2017年7月1日～2018年6月30日）決算および2018年度の役員報酬総額、役員を選任の3議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

これに先立ち、同年6月14日の第26回理事会において、2018年度（2018年7月1日～2019年6月30日）事業計画・収支予算、特別寄附金の受領、役員報酬総額の4議案が提案され、いずれも提案通り承認されました。

2018年度は、引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2017年度事業報告・決算報告および2018年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（26名）

2018年9月19日時点

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
理事長	南雲 弘行	教育文化協会 理事長	理事	柴田 謙司	情報労連 書記長
副理事長	相原 康伸	連合 事務局長	理事	難波 淳介	運輸労連 委員長
専務理事	木村 裕士	教育文化協会 専務理事	理事	田野辺耕一	私鉄総連 委員長
常任理事	村杉 直美	教育文化協会 常任理事	理事	松谷 和重	フード連合 会長
理事	八野 正一	UAゼンセン 副会長	理事	平川 純二	JEC連合 会長
理事	船山 整	自治労 総合企画総務局長	理事	山口 浩一	交通労連 委員長
理事	金子 晃浩	自動車総連 事務局長	理事	立川 博行	海員組合 政策局長
理事	神保 政史	電機連合 書記長	理事	佐藤 憲仁	労金協会 常務理事
理事	椎木 盛夫	JAM 副書記長	理事	濱田 毅司	全労済 常務執行役員
理事	和田口具視	基幹労連 副委員長	理事	新谷 信幸	連合総研 専務理事
理事	増田 光儀	JP労組 委員長	理事	塩田 正行	国際労働財団 常務理事
理事	清水 秀行	日教組 書記長	理事	中村 圭介	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理事	岸本 薫	電力総連 会長	理事	廣瀬真理子	東海大学 教授

監事（3名）

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
監事	下田 祐二	連合 総合総務財政局長	監事	岩田 一喜	公認会計士・税理士
監事	大北 隆典	生保労連 委員長			

顧問（5名）

役職名	氏名	協会経歴	役職名	氏名	協会経歴
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	岡部 謙治	前 理事長
顧問	須藤 安三	元 副理事長	顧問	古賀 伸明	前 Rengoアカデミー校長
顧問	高木 剛	元 Rengoアカデミー校長			

第6回定時総会にて次の役員が退任しました。

（前）理事 安藤 栄二（労金協会 常務理事）

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

新刊等のご紹介

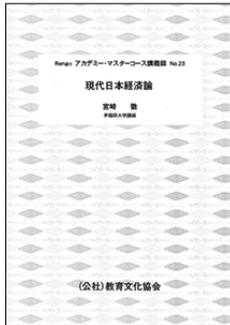
教育文化協会は、以下の書籍を刊行しました。

『現代日本経済論』は、2017年11月22日のRengoアカデミー・第17回マスターコースで、宮崎徹早稲田大学講師（当時）が講義した「現代日本経済論」を収録したものです。

『ものがたり現代労働運動史1』は、連合結成以降の労働運動の歴史についてのシリーズの第1冊目として1989年～1993年を対象に、資料収集と聞き取り調査をもとにまとめられたものです。

『壁を壊す～非正規を仲間に～』は、2009年に刊行した『壁を壊す』の内容はそのままに新装版として刊行したものです。

いずれもお求めの際は、教育文化協会もしくは出版元までお問い合わせください。



2018年4月
Rengoアカデミー・マスターコース
講義録No.23『現代日本経済論』
宮崎徹著、教育文化協会発行
A4判51ページ、本体200円＋税



2018年6月
連合新書20『ものがたり 現代労働
運動史1 1989～1993』
高木郁朗著、教育文化協会協力
四六判257ページ、本体2,300円＋税



2018年7月
連合・労働組合必携シリーズ『壁を壊す～
非正規を仲間に～』
中村圭介著、教育文化協会発行
四六判176ページ、本体1,000円＋税
※内容は2009年刊行『壁を壊す』と同じです。

INFORMATION

2018年11月23日（金・勤労感謝の日）にワークルール検定の初級検定が実施されます。
詳しくは右記ホームページをご覧ください。（URL）<http://workrule-kentei.jp/>

● 着任・退任のご挨拶 ●

10月1日付で田村ディレクターが連合本部へ復帰、本吉ディレクターが連合本部より着任しました。また、10月1日付で吉田さんが入りました。

■ ILEC在任中の2年間は皆様に大変お世話になりました。教育事業に携わることが多く、その重要性を改めて実感しました。特に寄付講座は、私自身も不真面目ながら学生時代に受講した経験があり、その運営に携われたことはとても感慨深いものでした。ILECでの経験を糧に今後も労働運動に邁進したいと思います。（田村知丈（たむらともひろ）ディレクター…… 連合本部へ復帰）

■ 新しい職場、業務への期待とちょっとした不安で胸がいっぱいですが、気持ち新たに頑張ります。不慣れな面もあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、一日も早く仕事に慣れ、連合運動を労働教育、労働文化活動の両面にて盛り上げたいと思っております。鋭意努力いたしますので、皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願いいたします。（本吉真人（もとよしまさと）ディレクター…… 連合本部より出向）

■ はじめまして、吉田恭枝です。最近のマイブームは海外ドラマを観ることです。これから一生懸命頑張ります。どうぞよろしく願いたします。（吉田恭枝（よしだやすえ）さん）

編集後記

教育文化協会もFacebookを始めました。これから「見える化」がどんどん進みそうな予感です。アナログ人間の私も、時代の波に乗り遅れないようにしたいと思います。（こん太）